

八百津町 交流施設利便性の向上等

団体情報

人口 11,685人 (H27.9.1時点)

岐阜県の東南部に位置し、東は恵那市、西は美濃加茂市や可児市に接する。総面積 128.79km²

古くから林業が盛んであるほか、酢、味噌、酒などの醸造に加え、八百津せんべいや栗きんとんなど、豊富な特産品に恵まれている。

第二次大戦中にユダヤ人にビザを発給し救った、杉原千畝の出身地としても有名。



事業について

○事業名 錦津コミュニティセンター建設事業

○総事業費 315,000千円
(うち財政融資資金) 142,800千円

○事業内容

既存公民館は山間部に立地し不便であったほか、土砂災害警戒区域に指定され、避難所としての利用も困難となった。

このため、町内中心部に新築し、利便性の向上や、避難所として安全な施設の確保を図ったもの。

事業による効果

住民募集により決定した通称名は「きらり」。

利便性の向上が図られ、使用団体や来館者は約2倍以上に増加。

図書棚やおもちゃのあるキッズコーナーや、学習コーナーなどが新設され、親子連れや学生など幅広い世代から好評を得ている。

住民の交流を目的として、月に一度、「きらりカフェ」が開催されているほか、避難所としての安全性も高まっており、文字どおり地域の中で「きらり」と輝く存在になっている。

外観



キッズコーナー



学習室



きらりカフェの様子

